企業間連携に「革新」を!
勝ち残るためのEDIがここにある

ビジネス環境の変化に対応する「eCubenetデータフロー」

ビジネス環境が激変する中、お客様要望も高度になっています。より遅い時間まで注文を受けて欲しい。在庫状況をリアルタイムに見たい。重要情報は暗号化して欲しい。そんな要望に、現在のEDIから乗り換えることなくスモールスタートで対応できる。さらにビジネス環境の変化に素早く気づき、セルフサービスでの迅速な変更を可能にする。それがオージス総研のEDIリアルタイムデータ連携サービス「eCubenetデータフロー」なのです。

POINT 1 リードタイム短縮を実現する「エンドツーエンドリアルタイム」

注文締め時間延長やリアルタイム在庫参照を可能にし、得意先様への販促力強化に貢献します。

POINT 2 出口戦略のあるDXイノベーションのための「導入リスクヘッジ」

セルフサービス機能を使って自社で高速なトライ&エラーが可能です。一定期間は試行料金で利用できますので、不確実性の高い取り組みにチャレンジできます。

POINT 3 取引先様環境に柔軟に対応する「クラウド連携」

クラウドストレージ・API・G Suiteなどのクラウド連携が容易ですので、急な取引先様からのクラウド連携要望にも応えることができます。

POINT 4 企業間データギャップを埋める「データリコンシリエーション(DR)」

データギャップを埋める対比マスタを企業間に置きセルフサービス可能にすることで、データの停滞を防ぎ、ビジネスのスピードアップに貢献します。蓄積データから他データの処理精度向上機能※により、人手によるデータ手直しを極小化します。

POINT 5 経営リスクを最小化する「セキュリティ」

データを防御することはもちろんインシデント時の被害を最小化することも重要です。NIST「サイバーセキュリティフレームワーク」の「PR.DS-5:データ漏えいに対する防御対策が、実装されている。」に対応するための、部分暗号化機能とデータバリデーション機能を利用できます。

※提供予定の機能です

オージス総研 eCubenetデータフロー

ビジネスニーズへの対応力がある EDI「eCubenetデータフロー」で競争力向上！

取引情報の伝送や管理にはEDIが有用ですが、標準的EDIでは現場ニーズに対応しきれないことも多くあります。よりリアルタイムな対応力を求められる取引にも、少量製品の発注業務でEDIが利用しづらくFAX業務が発生している状況にも対応。現状ニーズに応えるだけでなく、これからの変化にも自社で迅速にフィットさせられるセルフサービス機能も提供します。既存EDIと組み合わせることで、リアルタイム取引と効率的な締め処理を両立させる企業間連携バイモーダルITも実現。そんなEDIリアルタイムデータ連携サービスが「eCubenetデータフロー」です。

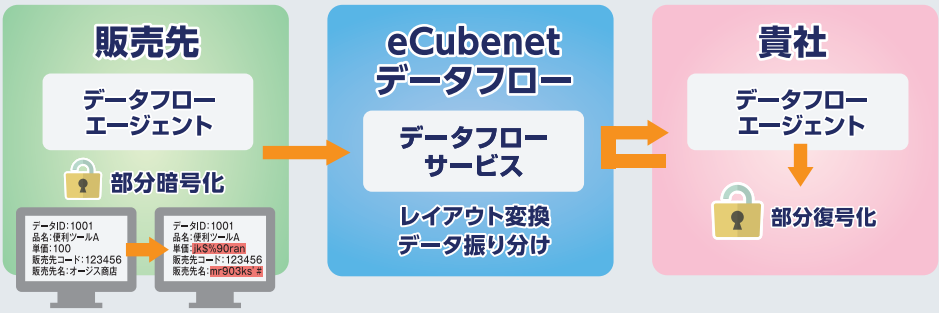
利用例

1 伝送リードタイム短縮で注文締め時刻延長を実現

貴社と取引先の双方にクライアントソフトを導入することで、バッチ処理リレーのタイムラグを考慮しないリアルタイムなやりとりが可能に。注文締め時刻をより遅く設定できることで競争力が強化できます。両社のレイアウト差異解消の変換定義も自社メンテナンスでき、顧客要望への対応力が向上します。

2 秘密情報のみ暗号化伝送で利便性と安全性を両立

センシティブな情報は暗号化して安全に伝送。特定項目のみを暗号化すれば、コードによるデータ振り分け機能等の利用とも両立できます。暗号化/復号化を双方のクライアントソフトで実行することで、エンドツーエンドのセキュリティが確保できます。



3 クラウド連携でスプレッドシート業務も継続可能

Web上で利用できるG Suiteスプレッドシートを活用し、スプレッドシートへの注文追加を検知。スプレッドシート同士を連携させるリアルタイム取引を可能にします。現在スプレッドシートで管理されている業務を変更することなく、利便性が向上させられます。

オージス総研
Daigas Group

営業本部
- 東　京　TEL 03-6712-1201
- 名古屋　TEL 052-209-9390
- 大　阪　TEL 06-6871-8054

https://www.ogis-ri.co.jp
E-mail: info@ogis-ri.co.jp

・記載の会社名・商品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
・記載された製品・サービスの内容は、予告なく変更する可能性があります。